

寄稿

# 育ちゆく地域コミュニティ

小田原市長 加藤憲一



かとうけんいち

1964年小田原生まれ。小田原高校、京都大学法学部卒。経営戦略コンサルティング会社、民間教育団体、農業、オービックビル事務局長、有限会社あしがら総研代表などを経て、現在小田原市長を務める。妻と子ども2人の4人家族。

市長任期も6年目に入り、地味なために進み具合が見えにくいものの、最も重要なテーマとして「地域コミュニティ」です。総合計画策定時に市内25の自治会連合会単位で「地域別計画」を取りまとめて人として育つ、犯罪や災害に備える、身近な環境を守る、文化を伝え郷土愛を育てる、高齢化社会におけるいのちを支え、安全と安心を守り、地域に生きる

喜びを分かち合う上で、地域コミュニティは極めて重要な役割を担うものです。総合計画策定時に市内25の自治会連合会単位で「地域別計画」を取りまとめて頂いたことを皮切りに、それに基づき地域コミュニティ推進事業への着手、諸団体が連携した「地域まちづくり委員会」のような組織の立上げが、各自治会連合会エリアで順次進められて

います。今まで個別に動いていた、自治会、地区社協、民児協、老人会、PTA、子ども会、青少年育成団体、商店会、防犯指導員、防災リーダー、体育振興会、消防団、小中学校や幼稚園・保育園などの諸団体が、課題を共有し役割分担して地域作りを進める動きです。更に、具体的なテーマに沿って、地域住民と行政が力を合わせて課題解決を行う「協働」も広がっています。社会的にサポートが必要な人たちをお互いに支える「ゲアタウン」づくりが市内15地区で進んでいるほか、地域総ぐるみで子どもを見守り育てる「スクールコミュニティ」、身近な環境を再生

する「環境再生プロジェクト」、生ごみ堆肥化を進める「生きごみサポーター」、手入れが行き届かなかった公園を環境改善する「身近な公園プロデュース事業」などが動いています。多くの市民の皆さんの理解と参画により、具体的な成果が着実に生まれていきます。更なる進化を目指し歩みを進めていきたいと思います。

**私が変わる・小田原が変わる**  
**おだわらを拓く力**  
 (加藤けんいち後援会)  
 小田原市栄町2-13-1-2F  
**TEL.0465-21-5260**  
 (月・水・金 10:00~17:00)  
<http://www.katoken.info>